

# 発達障害者に対する雇用継続支援の取組み

---

～ 在職者のための情報整理シートの開発 ～

## はじめに

障害者職業総合センター職業センターでは、平成17年度から、知的障害を伴わない発達障害者（自閉症、アスペルガー症候群、学習障害、注意欠陥多動性障害）を対象とした「発達障害者のワークシステム・サポートプログラム」（以下「WSSP」という。）を実施し、実際の支援を通じて発達障害に対する職業リハビリテーション技法の開発・改良をすすめてきました。その開発成果については、毎年度、実践報告書や支援マニュアルに取りまとめ、報告してきました。

本実践報告書は、平成25年度及び平成26年度に実施した就労中又は休職中の発達障害者に対する職場適応又は職場復帰のための支援（以下「雇用継続支援」という。）の取組みについて、取りまとめたものです。

また、この2年間の取組みにおいて、有識者、医師、企業担当者、支援機関担当者、研究員等の多くの方から、雇用継続支援の実施及び技法開発に関するご助言とご指導を賜りました。紙面を借りて、ここにお礼を申し上げます。

本実践報告書が発達障害者の雇用継続のために活用され、職業リハビリテーションサービスの質的向上の一助となれば幸いです。

平成27年3月

独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構  
障害者職業総合センター職業センター長  
石田 茂雄



## 目 次

第 1 章	雇用継続支援技法開発の背景.....	1
1	発達障害者を取り巻く情勢の変化.....	1
2	障害者職業センターにおける専門的支援の実施及び課題.....	3
3	雇用継続支援に係る技法開発の背景.....	5
第 2 章	雇用継続支援技法開発の目的.....	7
1	発達障害者の雇用管理上の課題を踏まえた技法開発.....	7
2	雇用継続支援における事業主支援の課題を踏まえた技法開発.....	7
3	リワーク支援での課題を踏まえた技法開発.....	8
4	雇用継続支援のための状況把握と目標共有のためのツールの開発と試行.....	9
第 3 章	雇用継続支援の取組みの概要.....	11
1	対象者の状況 .....	11
2	事業主のニーズ .....	12
3	『在職者のための情報整理シート』の概要.....	13
4	雇用継続支援における『在職者のための情報整理シート』の効果.....	15
第 4 章	『在職者のための情報整理シート』の活用の実際.....	17
1	就労状況の把握<ステップ 1>.....	17
2	取組課題の明確化<ステップ 2>.....	19
3	取組目標の設定<ステップ 3>.....	23
4	具体的な取組みの検討<ステップ 4>.....	24
第 5 章	雇用継続支援事例（ワークシステム・サポートプログラムを活用した支援） ....	25
1	作業の活用 .....	25
	「作業でのアセスメント結果を職務再設計に活用した事例」	
2	問題解決技能トレーニングの活用.....	30
	「行動の背景にある認知特性に基づいて対応方法を共有した事例」	
3	職場対人技能トレーニング（J S T）の活用.....	33
	「企業が J S T を活用して対人スキルの向上を図った事例」	
4	ナビゲーションブックの活用.....	36
	「負担軽減のために、雇用後にナビゲーションブックの改訂を行った事例」	
第 6 章	まとめ .....	39
資料編	.....	41